

緑と清流のまち

わかさ 議会だより

第147号
平成26年

2月号

WAKASA TOWN



議会事務局のアドレスへ

栄光に向かって、前へ

～第53回氷ノ山スキー大会～

- P. 2 新年のごあいさつ
- P. 3 12月定例会
- P. 4～7 一般質問Q & A
- P. 8～9 委員会活動報告
- P. 10 わたしの想い（安東さん、石井さん）

新年のごあいさつ



若桜町議会
議長 岡本 和廣

新年あけましておめでとうございます。
町民の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えされたことと、心よりお慶び申し上げます。今年が皆様にとりまして、良い年になりますようご祈念申し上げます。
日頃より議会に対しまして、暖かいご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年の国政において、7月の参議院選挙で、自民党が単独過半数の議席を確保し、国会の衆参ねじれは、解消するとともに、自民党・公明党連立の巨大政権が誕生しました。また、アベノミクス効果で株価は約2倍に上昇し、日本経済は再生したかのような評価がなされていますが、私たちが地方には、まだまだ恩恵がないように感じます。
そして、安倍内閣のもと、情報公開がほとんどされない中でのTPPの早期妥結交渉、米減反政策の廃止、本年4月から消費税3%値上げ実施等、幾多の政策が打ち出され、産業、経済、生活等に大きな影響が予想されます。

さらに、特定秘密保護法の強行採決、共謀罪新設や憲法改正の動きも感じます。中山間地域に暮らす我々が、安心して暮らせる改革となるか注視が必要です。
また、毎年異常気象で大災害が発生しています。幸い若桜町においては、大きな災害はありませんでしたが、いつ局地豪雨による土砂災害、河川氾濫が起きるとも限りません。常日頃、防災意識を持って安全な内に避難する習慣を持つこと（自助）が必要です。また、そのために集落の自主防災活動で、被害を最小限に食い止める努力（共助）をし、不幸にも災害が発生した場合、行政の支援（公助）を受けたいと思います。

「地方の事は地方自ら考え、自ら行い、自ら責任を取る」地方分権時代に突入し、いかにして自分の町を発展させるか、町村間で競争が激しくなっています。この現状で、若桜町の一番の課題は、少子高齢化による人口減少で、様々な面での担い手不足です。毎年の議会報告会においても、各会場で若者の定住、少子化対策の打開策を求められています。この解決策としては、誰かがしてくれる受身の姿勢でなく、自助・共助活動への意識改革が必要です。
地方の裁量権が広がった点は歓迎すべきことですが、若桜町独自の判断で行われる政策も増えるため、議会の責任も重くなることを自覚し、町民に信頼される議会運営を果たしていきたいと考えています。

この議会だよりが届く頃には、議員改選選挙の最中とありますが、現議員も微力ながら4年間一生懸命に、二元代表制の一翼を担う議会としての責務を果たすべく、町民の安心・安全、福祉向上に努めて来ましたが、少しでも皆様のお役になっていければ幸いに思います。
今後も町民皆様のご理解・ご協力賜りますことをお願い申し上げます。

十二月議会定例会

ふるさと納税 増収

平成25年第6回議会定例会は12月10日に招集され、町長から提出された議案5件、議員提出議案2件を慎重審議の結果、全議案を可決し、12月13日に閉会しました。

ふるさとを離れても若桜を 想ってもらっています

平成25年度 一般会計総額

36億4953万円

21119万円の追加補正

予算

○平成25年度若桜町一般会計補正予算
(第4号)

- 主な歳入
- 普通交付税 1000万円
 - 分担金及び負担金（獣肉処理施設整備備負担金等） 224万円
 - 県負担金（自立支援医療費等） 850万円
 - 寄附金（ふるさと納税） 312万円
 - 基金繰入金 150万円

主な歳出

- 一般企画（高速バスラッピング） 150万円
- ふるさと応援基金積立 312万円
- ふるさと納税推進事業 108万円
- 参議院議員選挙 △101万円
- 障がい者福祉事業（医療扶助等） 190万円
- 支援費事業（障がい者支援等） 1193万円
- 隣保館運営事業（工事請負費等） △353万円
- 有害鳥獣駆除対策（工事請負費） 215万円



ふるさと納税を使つての稚魚放流

○平成25年度若桜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
63万円を追加し、総額5億587万円とした。

条例

◆地方税法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
延滞金・還付加算金割合の引き下げ

◆若桜町立学校給食センター設置条例の一部を改正する条例
位置変更（浅井289番地へ）

議員提出議案

- ◆原子炉の再稼働に反対し、原子力に頼らないエネルギー政策への転換を求める意見書
- ◆消費税の複税率導入と新聞への軽減税率適用を求める意見書

人事

若桜町教育委員会委員の任命
竹本光子委員の任期満了となりましたが、引き続き竹本委員を選任することに同意しました。
任期 平成25年12月21日から
平成29年12月20日まで

11月議会臨時会 11/5

予算

○平成25年度若桜町一般会計補正予算（第3号）
78万円を追加し、総額36億2833万円とした。

条例

◆若桜町獣肉解体処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

※訂正：わかさ議会だより一四六号の二頁、民生費「障がい者福祉費」8835万円を1億1354万円、消費税「災害対策事業」1302万円を1301万円に訂正し、おわびします。

Q 一般質問 A

詳しくは
若桜町ホームページ→各課のご案内→議会事務局→会議録



質問者
坂本 等 議員
中尾 理明 議員
前住 孝行 議員
上川裕見子 議員

12月議会定例会の一般質問は、12月11日に行われ、4人の議員が町政の課題について質問しました。質問の要旨と町長の答弁を要約して紹介します。



中尾 理明 議員

Q 近場で業務が完結できるのは町の福祉事務所
A これまで県が行ってきた生活保護業務などを町が引き継ぎました。今まで県を通しての業務でしたが、すべての業務を町で行い、申請から決定までの一連の業務を町で実施でき、目的は達成されていると思います。

福祉事務所 困ったときに気軽に相談できる窓口 親切丁寧な対応で

A 本年8月に行われた基準改定は、生活保護を受けていない世帯との不均衡は正のため、生活保護基準額や計算式の変更に伴い、ほとんどが減額となっておりますが、場

Q 役場にできた福祉事務所は、当初の目的どおりの事業運営がなされていますか。
A これまで県が行ってきた生活保護業務などを町が引き継ぎました。今まで県を通しての業務でしたが、すべての業務を町で行い、申請から決定までの一連の業務を町で実施でき、目的は達成されていると思います。
Q 生活保護法改正について、生活扶助を受ける権利の抑制と支援事業への誘導による申請権の侵害に感じています。すでに保護費の減額が行われ、生活保護家庭への影響は広がっていると思えますが、どのように対応していますか。今後、生活困窮家庭に対し、どのような視点で取り組まれますか。
A 本年8月に行われた基準改定は、生活保護を受けていない世帯との不均衡は正のため、生活保護基準額や計算式の変更に伴い、ほとんどが減額となっておりますが、場



坂本 等 議員

Q ①人口減少により地方交付税や町税の減少が予想されます。歳出面では氷ノ山関連施設や道の駅、味工房等箱物の運営経費、町道・橋梁、上下水道施設等の維持補修、特別会計への繰出金など多額の費用が想定されます。中長期的な財政の見通しを伺います。
Q ②町民所得の推移をお尋ねします。

小林昌司町長
A ①本年度末の基金積立額は約20億円。一方起債の残額は約52億円で年間の約4億円の元利償還が必要ですが、大型の建設計画は当面ありませんが、施設の統合や町営住宅整備などの事業があります。今後とも健全財政を堅持し、効率的な行政運営を進めます。
A ②平成21年度と25年度を比較してみると、営業所得では、2億400万円が1億500万円に減少。農業は、マイナス3700万円がマイナス600万円に。山林は20万円変わらず。給与所得は、30億3000万円が25億6000万円に。年金は、5億4900万円が5億5500万円となつています。今後もこのような推移を予想しています。

財政 中長期的見通しは 健全財政を堅持して行く

消費税 増税について 所見は 社会保障の 充実強化に

Q ①消費税率が平成26年4月から8%に、27年10月から10%になります。社会保障費に充当されますが、町民には大きな負担増となります。増税について所見を伺います。
Q ②公共料金への転嫁は、料金を減額することで総額の据え置きを考えた方がどうか。
A ①社会保障と税の一体改革として、医療、介護、年金など増加する財源を確保するためにやむを得ないと理解しています。今後、社会保障のセーフティーネットを充実し、国民が安心して暮らせる国づくりを期待します。
A ②基本的には転嫁すべきと考えますが、料金を値下げし、総額を据え置く考え方もあります。

防災訓練 土砂災害を 想定した訓練を 実施の方向で 検討する

Q ①各集落における自主防災組織の現状と、今後の取り組みを伺います。
Q ②10月に実施された地震を想定した防災訓練の総括と、大雨、洪水、土砂災害を想定した避難訓練が必要と考えますが、いかがでしょうか。
Q ③避難準備情報、避難勧告、避難指示は市町村が発令しますが、本町の基準をお尋ねします。



自主防災組織の核となる自警団 (吉川)

小林町長
A ①27集落で自主防災講習会を行っており、年度内に一巡する予定です。組織の必要性、活動内容等を説明し、集落図面に避難経路等を記載する机上訓練も行っています。自主防災組織は、本年度中に4集落で結成される見込みです。
A ②震度6強の地震を想定した訓練を行いました。24集落164世帯、11事業所、10数団体で総計861人が参加されました。起震車、煙中、はしご車体験等もあり、充実した訓練でした。今回は風水害を想定した訓練を検討します。
A ③気象台が発表する警報、関係機関からの通報、河川が警戒水位を突破したときなどに勧告や指示をしますが、一般的な基準しか定めていません。今後、更に細かい発令基準を検討します。



福祉事務所 (庁舎内)

小林町長
A 現在11名の方が利用されています。IP電話により毎週金曜朝、登録されている方へ様子を伺っています。返事のない方に対しては、電話するなり、訪問しています。早く、要援護見守りシステムを完成させ、安心して老後を過ごせるよう努めていきます。
その他、高校生への医療費助成について質問されました。

Q 一般質問 A



上川裕見子 議員

Q 旧若桜小学校の美術品はたくみの館ですべて収蔵。旧池田小学校分は、校舎に残しており、検討中ですか。

A 高木教育長

Q 学校の状況はいかがですか。

A 高木教育長

たくみの館の保管品は、寄贈者、作品名が一覧で分かる台帳を整備しましたが、写真入りの詳細な台帳は整備中です。

Q 現時点で、台帳の整備状況はいかがですか。

美術品・収蔵品

台帳整備と貸出しは個別台帳と要綱整備し順次

Q 公共施設等への貸出しの考えと、開始はいつ頃ですか。

A 高木教育長

個別台帳整備を急ぎ、貸出し要綱を整備して順次行いたいと思います。

わかさこども園

急がれる保健室の整備 支援センターと併せ整備

Q 園には保健室がなく、手狭な職員室の片隅にベビーベッドを置き対応されていますが、早めの対応が必要ではないですか。

A 小林昌司町長

子育て支援センター併設を検討中で、保健室等も併せて整備したいと思えます。



これでいいの？ こども園保健室

Q 診療所開設や医師奨学金制度なども、過疎債

A 小林町長

本町出身の医師へのアプローチ、場の提供など医療体制確保と併せて、介護問題等を一緒に考えなければなりません。まず、本町の状況を住民に周知、理解していただきたいと考えています。

Q 次世代を担う医師確保に向け、どのようにお考えですか。

A 小林町長

わかさ生協維持のため県にも出たが、医師不足で公的病院に紹介するのが精一杯とのこと。医療確保は大事、しっかりと頑張りたいと思います。

A 小林町長

町内出身医師が時々帰省し、お手伝いされておられます。働き掛けてみてはどうですか。

A 小林町長

住民を巻き込み、医療・介護・食事・交通・住居などの課題解決を練っていく、若桜町らしい地域包括ケアシステムづくりが必要です。小さな問題把握のためにケアワーカー集会を開催してはどうですか。

A 小林町長

医療・介護施設、包括

小型家電リサイクル

取り組みに独自性発揮を問題提起してみたい

Q 来年度試行開始の鳥取市に準ずるだけでなく、独自性発揮へも挑戦してはどうでしょうか。

A 小林町長

補助金がありませんが実証事業時に回収ボックス等の支援や政策支援があるので取り組んでほしいと言われました。実証事業の計画はあります。

A 小林町長

法に国の再資源化促進への資金確保、措置の努力義務があり、国へ強く要望しています。私も東部広域の構成員でもあり、問題提起もさせていただきます。

Q 一般質問 A



前住 孝行 議員

Q 緊急通報システムの対応者を若桜町では、近隣の協力者を3名程お願いして対応されているようですが、その方たちの補償や謝金がないのではないのでしょうか。

A 小林昌司町長

協力員については、設置希望者が申請書提出時に、3名以上の協力者を明記し、協力員は同意書に署名捺印をして一緒に提出することになっています。協力員には親族

が多く登録されていますし、親族以外では隣人や民生委員を頼まれる場合が多いようで、協力員を町がお願することはありません。やはり現状では、共助で皆がお互いに支え合っていくことが大事だと思います。

A 小林町長

緊急通報システムの事業を周知してもらい、ある程度元気づけながら登録をし、必要なときにサツと実施できるようにしておいた方がよいと思いますが、どうですか。

A 小林町長

この制度を始めてから利用をされる方があまり増えていませんので、他に有効な方法がないか検討することも大切ではないかと思っています。

緊急通報システム

事前登録をしては他に有効な方法がないか検討も

若者定住対策

大胆な施策は雇用場の確保を

Q 昨年度の新生児数が8名、本年度が5、6名と喫緊の課題となつていきます。大胆な対策が必要だと考えますが、どのようにお考えですか。

A 小林町長

若者定住を図るため、若者の雇用場の確保することが重要であると考えており、企業誘致や雇用の促進を図る方策、林業と地場産業の振興による雇用の場の確保など検討をしたいと思っています。このため鳥取県や企業とこれまで以上に連携を図るとともに、地元の受入態勢も整えていく必要があると思います。



薪ストーブ（役場玄関ロビー）

ウォームシェア

公共施設で実践をPRしていく

Q ウォームシェアを公共施設で呼びかけてはどうですか。

A 小林町長

町民皆さんがウォームシェアの取り組みをご理解いただき、この冬はぜひ取り組んでいただきたいので、町報等でPRしたいと考えています。また、例えば、公民館のロビーとかで、

「今日は薪ストーブを焚く日」と設定し、そこに人が集まれるような考え方をしたいかという思いがあります。

氷ノ山開発

ユースホステル跡地は拠点となるもの

Q 以前ユースホステルの表示を降ろしてはという質問をさせてもらったときに「解体する」という回答をされましたが、これからの構想は。

A 小林町長

業者組合が心一つになって氷ノ山を進めていく「核となるものを」と思っています。例えば、遭難防止の救助隊、業者組合の事務局、あるいは登山届を出すところなどを1ヶ所にまとめたかどうかとっています。さらに、氷ノ山の夏いちごの加工場、冬はキッズルームとして、考えていきたいと思っています。

委員会活動報告

総務産業 常任委員会

平成25年 11月12日
アロイ工業
わかさ29工房
木質バイオマス事業

産業観光課

説明 若桜工場に、看板・自動販売機を設置。27名を採用（内若桜在住者9名）し、現在鳥取工場で研修中。

Q 旧池小体育館の整備は。

A 全体の工程が遅れている。1月か2月には工事にかかると思う。

説明 わかさ29工房の残渣の処理は、ペットフードとして業者へ販売。残りの残渣は、処理業者へ委託する予定。

Q 解体は1日3頭が限度と言っているが、それ以上持込まれたらどうするのか。

A それ以上出てきた場合、断らざるを得ない。



委員会の様子

Q 若桜木材の木質ボイラーは、いつ頃稼働するのか。

A 来年度から可能となる。

Q J Aに無料貸付けした堆肥散布機の管理は。

A J Aが(有)若桜農林振興に、作業委託する。

平成25年 12月5日
12月定例会に向けて

教育民生 常任委員会

平成25年 10月29日
給食センター改築工事・
厨房機器の変更契約

教育委員会

説明 ・改築工事…2,028,600円追加
・厨房機器…617,400円追加
・工事の行程が早まり、12月27日に完了し、平成26年1月8日には給食が提供できる。



美味しい給食を！

平成25年 11月5日
ストックヤード建設に向けて

町民福祉課

説明 資料に基づき、これからの設計に向けての素案として説明を受けた。

平成25年 12月4日
12月定例会に向けて

町民福祉課

意見 社会福祉協議会も、来年度4人退職者がある。次世代を育てるには、資格習得助成制度の拡充が必要。

教育委員会

報告 小中一貫校施設一体型が全国で200校あり、若桜学園にも視察団体が来ている。

説明 今年度の成人式より、式典後の記念行事に、懇親会を実施する予定。

※午後より委員全員で、T D A S 検査（物忘れ相談プログラム）・A B I 検査（血圧血流測定）・唾液アミラーゼ検査（ストレスチェック）を体験した。

陳情書審査結果

12月議会定例会において常任委員会に付託した陳情は、慎重な審査の結果、次のとおり決定しました。

番 号	件 名	陳情者等	付託委員会名	審査結果
陳 情 第 2 3 号	浅井地区寺谷川護岸改修に関する陳情書	浅井自治会長 浅井肥佐雄 鳥取安泰（株） 代表取締役 芝野 光広	教 育 民 生 常 任 委 員 会	採 択
陳 情 第 2 4 号	原子炉の再稼働に反対し、原子力に頼らないエネルギー政策への転換を求める陳情書	反核・平和の火りレー 鳥取県実行委員会 実行委員長 綱本 圭祐	総 務 産 業 常 任 委 員 会	採 択
陳 情 第 2 5 号	消費税の複数税率導入と新聞への軽減税率適用に関する陳情	鳥取県朝日会、山陰中央新報鳥取県販売店会、山陰日経会、日本海新聞を発展させる会、毎日新聞山陰専売会、鳥取県読売会	総 務 産 業 常 任 委 員 会	採 択
陳 情 第 2 6 号	中原地区河川の土砂撤去に関する陳情書	中原自治会長 永原 重孝	教 育 民 生 常 任 委 員 会	採 択

請願陳情

請願・陳情は、町民の皆さんが町政などについての要望等を、直接議会に書面で提出できる制度です。議長宛に議会事務局へ提出してください。提出された請願・陳情は関係の常任委員会で審査の上、本会議で採決し、採択された請願・陳情は行政に生かされます。詳しくは、議会事務局（☎82-2212・IP☎982-2212）にお問い合わせください。

氷ノ山公共施設 調査特別委員会

平成25年 11月21日
上半期経営状況
9月に発生した食中毒

平成25年 12月7日
「氷太くん」の産業廃棄物不適切処理

Q 氷太くん等の営業収益や、原価率、仕入食材料の占める割合は。

A 上期の赤字は、冬季シーズンでカバーできると考えており、個人の集客に努力したい。原価率、食材については、道の駅も含め、棚卸をするように指導している。

Q 食中毒の件は、後処理やお客さんの気分を損ねないことが大事。真っ先にトップがお詫びする方が誠意を感じると思うが。

A 79人のまとめを学生幹事が行っているのですが、頻りに様子を伺うと気分を害される恐れもある。1日も早く解決したいが、交渉事なので、請求はこちらの都合でできない部分がある。



Q その後の状況は、どうなっているのか。

A 県に1月10日までに関係書類を提出するように求められている。

※訂正…わかさ議会だより146号P26の「R482号線トンネル残土処理予定地」を「R482号線トンネル残土処理候補地」と訂正いたします。

わたしの想い



このコーナーでは、議会、議員や議会だより等に関わる町民の皆さんからの御要望や率直なご意見を紹介いたします。



鹿革事業を通して

石井 健治さん
(赤松)

早いもので。米子市より若桜町へ移住し、約1年が過ぎました。
 生業である宝飾品、バッグ、婦人服等の卸問屋を営むかたわら、若桜町で害獣駆除をされた鹿の革を何とかしたいと思い、若桜町とご縁ができたのが3年前。一昨年の4月の鹿革美容製品の発売に続き、昨年は商工会が運営するチャレンジショップ若桜へ入店し、鹿革製品の新たな商品開発を行いました。そして、昨年11月末、道の駅向かいに、鹿革工房「Dear, Deer」をオープンし、併せて「若桜美人研究所」を併設オープン致しました。これは、鹿革美容商品を通じ分かったことですが、年齢に関係なく若桜の女性の肌がとても綺麗で、そのイメージを「若桜美人」として全国に発信すべく命名しました。鹿革を中心に扱う事業は全国に見ても数が少なく、試行錯誤の連続ではありますが、たくさんの方々にご支援いただき、現在にいたっております。この鹿革事業が進展し、若桜の新たな観光地、そして、新たな産業に育ち、少しでも地域へ還元できればと思っています。
 今後ともよろしく願いいたします。

私にできること

安東 秀憲さん
(小船)

小船にIターンさせて頂いて早1年と4か月が経ちました。四季折々の変化は、以前住んでいた場所とは比べものにならない位ダイナミックであり、且つ魅力的なものでした。でも、このダイナミックさが時として人を困惑させる程の厳しさを見せつけるのも事実だとわかりました。その厳しさを“そんなもの！”と片付けるのは簡単ですが、移住希望者がすべての事を把握しているとは限らず、少しでもその戸惑いを軽減できる情報があればと常日頃から思っておりました。そんな中、移住経験者として私たち夫婦ができる事は何だろうと考えた時、自分たちが経験した戸惑いを、回避策を踏まえてまとめておくことも役目だと認識しております。しかし、個人としてできることは限りがありますので、町として移住者からの情報をまとめ、環境整備をしていただければ幸いです。
 自然がいっぱいある地域で暮らしてみたい人たちは、日本中には多くおられると思います。そんな方々に、他地域より若桜を選んでいただければという活動に、微力ながらも応援していければと思っています。

意見・写真をお寄せください

メール gikai@town.wakasa.tottori.jp

FAX 0858(82)2222

あとがき

季節は変わり、通勤、通学、除雪等、厳しい時期になりました。

今期議会だより編集も、最後になります。通例では、選挙改選のため発行していませんでしたが、委員会で協議の結果、12月議会の伝達は必要だということで、発行を決定しました。少しでも町民の皆さんに、議会活動を知って頂く様に努力を重ねてまいりました。いかがでしたでしょうか。

発行編集にあたり、数々の掲載ミス等ありましたが、お詫びし、次期の委員に引き継ぎたいと思っております。

今後、委員構成の変更があると思いますが、これからも愛読して頂く事をお願いいたします。結びといたします。ありがとうございます。

議長 岡本 和廣
 議会だより調査特別委員会

- 委員長 前住 孝行
- 副委員長 中村 敏明
- 委員 奈羅尾 寿夫
- 委員 山本 晴隆